

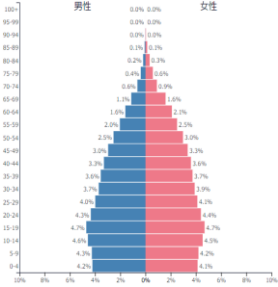


1. 国概要		出典	
正式名	ミャンマー連邦共和国	①	
国旗	位置図	①	
		①	
面積	約68万平方キロメートル（日本の約1.8倍）	①	
首都	ネーピードー	①	
人口	54,045千人（World Population Prospects 2019） 	②	
民族	ビルマ族（約70%）その他少数民族	①	
公用語	ミャンマー語（公用語）	①	
宗教	仏教（87.3%）、キリスト教（6.2%）、イスラム教（4.9%）、ヒンドゥー教（0.5%）など	③	
通貨（為替レート）	1ドル=1,397.9チャット（中央銀行レート）（2020年6月）	⑦	
略史	11世紀半ば～	諸部族割拠時代を経て最初のビルマ族による統一王朝（バガン王朝，1044年～1287年）が成立。その後タウングー王朝，コンバウン王朝等を経る。	①
	1886年	英領インドに編入される。	
	1948/1/4	独立	
	1954/12/1	日本との国交樹立	
政治			
政体	大統領制、共和制	①	
元首	ウィン・ミン大統領（2018年3月30日就任・任期5年）	①	
議会	二院制 上院（民族代表院） 定数224（選挙議席168，軍人代表議席56） 下院（国民代表院） 定数440（選挙議席330，軍人代表議席110）	①	
政府	(1) 元首：ウィン・ミン大統領（2018年3月就任） (2) 国家最高顧問及び外相 アウン・サン・スー・チー（2016年3月就任） (3) 副大統領：ミン・スエ、ヘンリー・ヴァン・ティオ（2016年3月就任）	①	

<p>地方自治制度</p>	<div style="text-align: center;"> </div> <p>・ミャンマーの地方区分は、憲法において地域（Region）と州（State）、連邦直轄領に区分けされており、7つの地域（主にビルマ族が居住）、7つの州（主に少数民族が居住）、1つの連邦直轄領（首都ネービードーのみ）が定められている。</p> <p>・首長として、地域又は州の首相が置かれる（大統領が、地域又は州議会議員の中から候補者を選定し、地域又は州議会の承認を得て任命）</p> <p>・地域及び州の下には、県（District）、自己管理区域（Self-Administered Zone）及び自己管理区（Self-Administered Division）が設置され、その下に郡（Township）が、さらにその下に村（Village）及び区（Ward）が置かれている。（自己管理区の下には県も置かれている）</p>	<p>④</p>																		
<p>経済</p>																				
<p>主要産業</p>	<p>農業、天然ガス、製造業</p>	<p>①</p>																		
<p>実質経済成長率（％）</p>	<div style="text-align: center;"> <p>経済成長率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>実質経済成長率（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2012</td><td>6.5</td></tr> <tr><td>2013</td><td>7.9</td></tr> <tr><td>2014</td><td>8.2</td></tr> <tr><td>2015</td><td>7.5</td></tr> <tr><td>2016</td><td>5.2</td></tr> <tr><td>2017</td><td>6.3</td></tr> <tr><td>2018</td><td>6.8</td></tr> <tr><td>2019</td><td>6.2</td></tr> </tbody> </table> </div>	年	実質経済成長率（％）	2012	6.5	2013	7.9	2014	8.2	2015	7.5	2016	5.2	2017	6.3	2018	6.8	2019	6.2	<p>③⑧</p>
年	実質経済成長率（％）																			
2012	6.5																			
2013	7.9																			
2014	8.2																			
2015	7.5																			
2016	5.2																			
2017	6.3																			
2018	6.8																			
2019	6.2																			
<p>物価上昇率（％）</p>	<div style="text-align: center;"> <p>物価上昇率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>物価上昇率（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2012</td><td>0.4</td></tr> <tr><td>2013</td><td>5.8</td></tr> <tr><td>2014</td><td>5.1</td></tr> <tr><td>2015</td><td>7.3</td></tr> <tr><td>2016</td><td>9.1</td></tr> <tr><td>2017</td><td>4.6</td></tr> <tr><td>2018</td><td>5.9</td></tr> <tr><td>2019</td><td>7.8</td></tr> </tbody> </table> </div>	年	物価上昇率（％）	2012	0.4	2013	5.8	2014	5.1	2015	7.3	2016	9.1	2017	4.6	2018	5.9	2019	7.8	<p>③⑧</p>
年	物価上昇率（％）																			
2012	0.4																			
2013	5.8																			
2014	5.1																			
2015	7.3																			
2016	9.1																			
2017	4.6																			
2018	5.9																			
2019	7.8																			

名目GDP (10億USD)	<p style="text-align: center;">名目GDP</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>名目GDP (10億USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2012</td><td>58.5</td></tr> <tr><td>2013</td><td>60.5</td></tr> <tr><td>2014</td><td>63.3</td></tr> <tr><td>2015</td><td>63.2</td></tr> <tr><td>2016</td><td>60.5</td></tr> <tr><td>2017</td><td>61.4</td></tr> <tr><td>2018</td><td>68.7</td></tr> <tr><td>2019</td><td>66.0</td></tr> </tbody> </table>	年	名目GDP (10億USD)	2012	58.5	2013	60.5	2014	63.3	2015	63.2	2016	60.5	2017	61.4	2018	68.7	2019	66.0	③⑧						
年	名目GDP (10億USD)																									
2012	58.5																									
2013	60.5																									
2014	63.3																									
2015	63.2																									
2016	60.5																									
2017	61.4																									
2018	68.7																									
2019	66.0																									
一人当たり名目GDP (USD)	<p style="text-align: center;">1人当たりGDP</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>一人当たり名目GDP (USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2012</td><td>1,157</td></tr> <tr><td>2013</td><td>1,188</td></tr> <tr><td>2014</td><td>1,231</td></tr> <tr><td>2015</td><td>1,219</td></tr> <tr><td>2016</td><td>1,157</td></tr> <tr><td>2017</td><td>1,166</td></tr> <tr><td>2018</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>2019</td><td>1,245</td></tr> </tbody> </table>	年	一人当たり名目GDP (USD)	2012	1,157	2013	1,188	2014	1,231	2015	1,219	2016	1,157	2017	1,166	2018	1,300	2019	1,245	③⑧						
年	一人当たり名目GDP (USD)																									
2012	1,157																									
2013	1,188																									
2014	1,231																									
2015	1,219																									
2016	1,157																									
2017	1,166																									
2018	1,300																									
2019	1,245																									
失業率 (%)	1.58% (2019年, 世界銀行)	⑨																								
総貿易額 (10億USD)	<p style="text-align: center;">総貿易額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>貿易輸出額 (10億USD)</th> <th>貿易輸入額 (10億USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2012</td><td>9.2</td><td>8.0</td></tr> <tr><td>2013</td><td>11.5</td><td>12.2</td></tr> <tr><td>2014</td><td>11.6</td><td>16.5</td></tr> <tr><td>2015</td><td>12.2</td><td>17.1</td></tr> <tr><td>2016</td><td>11.7</td><td>15.9</td></tr> <tr><td>2017</td><td>13.9</td><td>19.5</td></tr> <tr><td>2018</td><td>16.8</td><td>19.4</td></tr> </tbody> </table>	年	貿易輸出額 (10億USD)	貿易輸入額 (10億USD)	2012	9.2	8.0	2013	11.5	12.2	2014	11.6	16.5	2015	12.2	17.1	2016	11.7	15.9	2017	13.9	19.5	2018	16.8	19.4	③
年	貿易輸出額 (10億USD)	貿易輸入額 (10億USD)																								
2012	9.2	8.0																								
2013	11.5	12.2																								
2014	11.6	16.5																								
2015	12.2	17.1																								
2016	11.7	15.9																								
2017	13.9	19.5																								
2018	16.8	19.4																								
貿易品目	(1) 輸出 天然ガス, 衣類, 米, 豆類, 鉱物 (2) 輸入 機械類, 精油, 製造品, 化学品, 食品	①																								
主要貿易相手国	(1) 輸出 中国, タイ, 日本, シンガポール, インド (2) 輸入 中国, シンガポール, 日本, タイ, インドネシア (ミャンマー中央統計局 (2017/18年度))	①																								
2. 日本とのかかわり		出典																								
大使館	ヤンゴン	①																								
大使	丸山 市郎 (2018年3月～)	①																								
進出企業数	390社 (2019年5月末現在)	③																								
日系レストラン数	100店舗 (2020年現在)	⑪																								
日本企業の投資件数と投資額 (製造業)	日本企業の投資件数 116件 投資額 11億9060万ドル ※1988年の外国投資解禁以降、2019年4月末までの累計	③																								
在留邦人数	3,063人 (2019年10月現在)	①																								
在日ミャンマー人数	28,860人 (2019年6月末現在)	⑩																								

貿易																											
日本との貿易 (通関ベース) (100万USD)	<table border="1"> <caption>日本との貿易 (100万USD)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>日本の輸出</th> <th>日本の輸入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2013</td><td>1,062</td><td>761</td></tr> <tr><td>2014</td><td>1,192</td><td>863</td></tr> <tr><td>2015</td><td>1,066</td><td>864</td></tr> <tr><td>2016</td><td>1,034</td><td>938</td></tr> <tr><td>2017</td><td>1,065</td><td>879</td></tr> <tr><td>2018</td><td>1,279</td><td>695</td></tr> <tr><td>2019</td><td>1,417</td><td>652</td></tr> </tbody> </table>		年	日本の輸出	日本の輸入	2013	1,062	761	2014	1,192	863	2015	1,066	864	2016	1,034	938	2017	1,065	879	2018	1,279	695	2019	1,417	652	③
年	日本の輸出	日本の輸入																									
2013	1,062	761																									
2014	1,192	863																									
2015	1,066	864																									
2016	1,034	938																									
2017	1,065	879																									
2018	1,279	695																									
2019	1,417	652																									
日本の主要輸出入品目	(1) 輸出: 輸送機器、一般機械など (2) 輸入: 衣類、履物、魚介類など		③																								
3. 自治体の活動			出典																								
自治体交流																											
姉妹自治体	福岡市とヤンゴン (2016年12月7日) 姉妹都市締結		⑥																								
トップセールス等実績 (渡航通知ベース)	(2017年) 10月 福岡市 ・ヤンゴン市で開催予定の経済交流会及び姉妹都市PRイベント「FUKUOKA-YANGON Festival」のため (2018年) 11月 福岡市 ・ヤンゴン政府訪問のため (2019年) 12月 福岡市 ・ヤンゴン市で開催予定の福岡市PRイベントのため																										
JET参加者の数 (2019年7月現在)	1人	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>ALT</td> <td>0人</td> <td>累計</td> <td>1人 (2019年7月現在の参加者を含む)</td> </tr> <tr> <td>CIR</td> <td>1人</td> <td>累計</td> <td>1人 (2019年7月現在の参加者を含む)</td> </tr> <tr> <td>SEA</td> <td>0人</td> <td>累計</td> <td>1人 ※計 1人</td> </tr> </tbody> </table>	ALT	0人	累計	1人 (2019年7月現在の参加者を含む)	CIR	1人	累計	1人 (2019年7月現在の参加者を含む)	SEA	0人	累計	1人 ※計 1人	④												
ALT	0人	累計	1人 (2019年7月現在の参加者を含む)																								
CIR	1人	累計	1人 (2019年7月現在の参加者を含む)																								
SEA	0人	累計	1人 ※計 1人																								
JETAA支部	-		④																								
クレア関連事業	●専門家派遣事業 2002年度 派遣分野: 上下水道 (水道の浄化方法)、専門家派遣自治体: 茨城県		④																								

ネ

4. その他渡航情報		
入出国	ミャンマー入国には渡航目的にあったビザが必要 ・公用（滞在可能日数：口上書通り、代金：0円） ※アライバルビザはヤンゴン国際空港、マンダレイ国際空港で取得可能 ※2018年10月1日より観光目的の入国はビザ免除（滞在可能日数：30日） （注） コロナウイルスを踏まえた最新の状況は大使館HP等で確認してください	
旅券の残存期間	入国時にパスポートの有効期間が6ヵ月以上 （注） コロナウイルスを踏まえた最新の状況は大使館HP等で確認してください	①
日本との時差	-2.5時間	①
祝日（2020年）	1月1日（水） 新年 1月6日（月） 独立記念日 2月12日（水） 連邦の日 3月2日（月） 農民の日 3月9日（月） タバウン満月 3月27日（金） 国軍記念日 4月10日（金）～16日（木） 水祭 4月17日（金） ミャンマー新年 5月1日（金） メーデー 5月6日（水） カソン満月 7月20日（月） 殉難者の日 8月3日（月） ワソー満月 10月29日（木）～11月2日（月） タディンジュ満月 11月27日（金）～30日（月） タザウモン満月 12月9日（水） 国民の祝日 12月25日（金） クリスマス 12月31日（木） 年末休暇 ※イスラム祝日、ヒンドゥー祝日の日程は直前に決定するため現時点では未定。	③
予防接種の必要性	A・B型肝炎、破傷風、腸チフス（地方に出張することが多い方は狂犬病、日本脳炎）	①
気候	暑季（3月～5月）、雨季（6月～10月）、乾季（11月～2月）の3季	①
電話の掛け方	国際電話会社の番号+95（国番号）+最初の0を取った電話番号	
電力	220～240V、50Hz。日本国内仕様の電気製品はそのままでは使用できない。電力事情は劣悪で、電圧は安定せず、停電も多い。プラグはB、B3型など。	
水道水	生水は飲めない。ミネラルウォーターを飲用すること。	
日本からのフライト時間	7時間（成田ーヤンゴン間）※直行便有	

参考資料

- ①外務省HP：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/myanmar/data.html>
- ②World Population Prospects 2019 <https://population.un.org/wpp/Download/Standard/Population/>
- ③JETRO <https://www.jetro.go.jp/world/asia/mm.html>
- ④（一財）自治体国際化協会HP <http://www.clair.or.jp/>
- ⑤農水省HP：http://www.kantei.go.jp/jp/singi/nousui/kyouka_wg/dai10/siryou4_b1-11.pdf
- ⑥福岡市HP：<http://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/profile/06.html>
- ⑦ミャンマー中央銀行：<https://www.cbm.gov.mm/>
- ⑧IMF HP：
https://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2019/02/weodata/weorept.aspx?pr.x=37&pr.y=5&sy=2012&ey=2024&scsm=1&ssd=1&sort=country&ds=.&br=1&c=518&s=NGDP_RPCH%2CNGDPD%2CNGDPDPC%2CPCPIPCH%2CLUR&grp=0&a=
- ⑨THE WORLD BANK HP：<https://data.worldbank.org/indicator/SL.UEM.TOTL.ZS?locations=MM>
- ⑩法務省HP：http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_ichiran_touroku.html
- ⑪外務省調べ、農水省推計値を参考にJ. CLAIRシンガポールが推計